

TOP / 2011年度

2012年03月14日

南三陸町で「木こり体験」

南三陸町入谷の「宮城大学南三陸復興ステーション」で12日(月)・13日(火)の2日間、旧林際小学校運営事業組合と宮城大学地域連携センターが主催する「木こり体験セミナー」が行われました。

「南三陸復興ステーション」の周辺環境と間伐材利用の薪づくりを行い、地域住民と宮城大学との交流・親睦を深めるとともに、里山資源の循環利用のあり方を実践的に学び合い、エネルギーの地産地消への取り組みを広げようというもので、北九州市立大学、福岡県立大学、宮城大学の学生18人と、南三陸町の復興まちづくり推進員3人など合わせて25人が参加しました。

初日は、午前10時半に、校舎の宿「さんさん館」(旧林際小学校を改装して作られた グリーンツーリズムと宿泊体験学習の施設)に集合。ヘルメットを着用して「さんさん 館」に隣接する山に移動した後、南三陸町森林組合の技能員や旧林際小学校運営事業組合 のメンバーを講師に、実技の指導を受けました。

最初に技能員らがチェーンソーで大きな木を切り倒した後、学生たちがプロの手ほどきを受けながら、チェーンソーを使って倒木の処理、間伐・玉切りなどを行い、薪ストーブの燃料となる薪づくりに汗を流しました。

午前の部の終了後には、さんさん館の食堂で昼食。地元の「そば打ちの会」の皆さんが 手打ちそばとおにぎりを振る舞い、入谷の味に舌鼓を打ちました。



■■ 検索ボックス

検索

=== << 2014年01月 >>

 日月火水木金

 1
 2
 3
 4

 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11

 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18

 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25

■最近の記事

(01/20)<u>ささよ</u> (01/10)<u>役場への活動報告</u> (12/03)仮設住宅でチューリップ植栽 (08/21)仮設住宅で色鮮やかな花が咲き誇っています (08/10)歌津地区公共施設配 置検討会が開催されました

■ 最近のコメント

富山大学の志賀准教授らが 南三陸町訪問 by distenducconpe (08/10) 奥尻島視察レポート by pasegnumrocu (08/04) 富山大学の志賀准教授らが 南三陸町訪問 by espresparniven (08/04) 奥尻島視察レポート by 藤 沼建人 (10/17) 奥尻島視察レポート by 口 永良部島 (10/17)

!!! タグクラウド

計 カテゴリ

<u>日記</u>(0) 2011年度(19 2012年度(24 2013年度(24

■ 過去ログ









いいね!

N1 /

ツイート ブックマーク

2014年01月(2) 2013年12月(1) 2013年08月(3) 2013年07月(4) 2013年06月(6) 2013年05月(4) 2013年04月(4) 2012年12月(1) 2012年10月(2) 2012年09月(4) 2012年08月(4) 2012年08月(4) 2012年03月(2) 2012年03月(2) 2012年02月(4) 2012年01月(3) 2012年01月(3) 2012年01月(3) 2011年11月(9)

RDF Site Summary RSS 2.0

2012年03月01日

南三陸町内で、復興てらこ屋「神戸の復興に学ぶ」を開催しました

神戸からまちづくりの専門家をお招きして、復興てらこ屋「神戸の復興に学ぶ~今、私たちが考えておきたいこと~」を開催しました。神戸の復興まちづくりのお話を伺いながら、これから、南三陸の復興まちづくりに進んでいく上で、住民として、あるいは自治会として、今、考えておきたいことについて学びました。

志津川会場

日時 平成24年2月29日 (水) 14:30~16:30

会場 南三陸町志津川中学校仮設住宅集会所



歌津会場

日時 平成24年2月29日(水)18:00~20:00

会場 南三陸町歌津地区 平成の森「体験交流室」



ご参加いただいた住民の方からは「こういう話し合いの場は大切だ」「次はいつ開催するの?」といった声をいただきました。また歌津会場の様子は、NHKのニュースで放映いただきました。



ツイート ブックマーク

2012年02月25日

第4回復興てらこ屋が開催されます

2月29日(水)午後6時から、歌津平成の森「体験交流室」で、第4回目の「復興てらこ屋」が開催されます。

「復興てらこ屋」は、南三陸町のまちづくりについて住民みんなが語り合い、意見や知恵 を出し合う場です。

第4回目の今回は、「神戸の復興に学ぶ」をテーマに、神戸で実際に復興支援・被災者支援活動を展開した方々を講師に迎え、勉強会を行います。

復興のまちづくりについて、一緒に語り合い、考えてみませんか。

テーマ

神戸の復興に学ぶ

~防災集団移転事業に向けて 今、私たちが考えておきたいこと~

講師:特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所 理事・事務局長 野崎隆一さん

日 時:平成24年2月29日(水)午後6時から8時まで

場 所:南三陸町歌津 平成の森「体験交流室」

主 催:宮城大学地域連携センター

復興まちづくり推進協議会

共催:復興みなさん会

後 援:すばらしい歌津をつくる協議会

参加費:無料

☆ 参加ご希望の方は直接会場にお越しください。

お問い合わせ:

022-377-8319 (宮城大学)

090-8256-9197 (担当及川)

0 0 vvva!

ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 09:29| <u>Comment(0)</u> | <u>2011年度</u>

すばらしい歌津をつくる協議会2月定例会開催

2月17日(金)午後6時半から、南三陸町歌津平成の森「体験交流室」を会場に、「すばらしい歌津をつくる協議会」の2月定例会が開催され、歌津地区の行政区長や仮設住宅の自治会長、契約会の会長、ボランティア団体の代表など、およそ50人が参加しました。

小野寺寛会長の挨拶に続いて、①小中高生による「未来に残す津波体験、新しいまちづ

くり文集」が、4月発刊を目標に準備が進められていること(東北大学文学部の学生が制作に協力)②吉野沢仮設住宅で建設が進められている集会施設の工事の進捗状況③歌津中学校の火災予防ポスターコンクール協力の件などが報告されました。さらに、大牟田市社協、さわやか福祉財団、アジア協会アジア友の会など7つのボランティア団体から活動報告の発表がありました。

続いて行われた協議や情報交換では、各地区から「防災集団移転事業で移転する土地へ 災害公営住宅を建設してほしい」などの希望が出されました。

また、宮城大学の平岡先生が、高台移転事業の進め方についてアドバイスを行いました。 オブザーバーとして参加した南三陸町の復興まちづくり推進員が、2月29日に開催予定の「復興てらこ屋」への参加を呼びかけました。



ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 09:28| Comment(0) | 2011年度

2012年02月22日

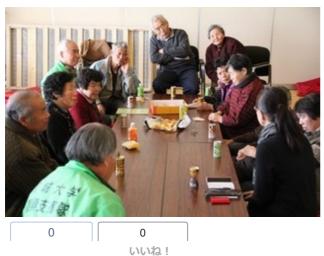
地域再生について語る会開催

2月17日(金)午前9時30分から正午まで、歌津平成の森老人福祉センターを会場に、「地域再生について語り合う会」(すばらしい歌津をつくる協議会主催)が開催されました。

会には、隣接する平成の森仮設住宅に暮らす住民らおよそ50人が参加。地域再生事例の DVD鑑賞(九州やねだんの地域づくり)や、歌津の再生について語るワークショップが 行われました。この催しには、南三陸町の宮城大学復興まちづくり推進員が企画の段階か ら協力。当日の会場設営やワークショップのファシリテーターなどのお手伝いをさせてい ただきました。







ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 09:25| Comment(0) | 2011年度

2012年02月16日

ちいさな南三陸町をつくっています1

登米市南方にある仮設住宅は、ふるさと南三陸町から離れて南三陸町民が暮らしています。

なつかしい故郷に帰る日までの心の寄り処があったらいいなあ、の声を形にしました。 集会所の一角を利用した、名付けて「ちいさな南三陸町」コーナーです。方言や食文化 を、ちいさな紙に自由に書いて、ペタペタ貼って懐かしさを共有しようというもの。

これは、去年の秋から自立型支援でお世話になっている、東京のNPO法人、コレクティブハウジング社の皆さんのご提案によるものです。お礼の作品も展示しました。

以来、この一角には、自然と人が集まり、長々と昔話を交わされるようになりました。

支援員としても被災者としても多くを学ぶ毎日です。



ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 09:23| Comment(0) | 2011年度

2012年01月19日

復興てらこ屋を開催しました。

1月18日(水)9時30分~11時30分、南三陸町の平成の森にて、復興てらこ屋を開催しました。

今回のお題は「今気になること」について、被災されたみなさんに語っていただきました。



グループごとにお茶をのみながら、ざっくばらんに。(*^_^*)



約30名の住民のみなさんにご参加いただきました。



(報告 復興まちづくり推進員 三浦)



ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 19:27| Comment(0) | 2011年度

2012年01月08日

復興てらこ屋 <其ノ弐> を開催しました。

1月8日(日)10時~12時、登米市南方仮設住宅の第1集会所にて、復興てらこ屋 <其ノ弐>を開催しました。

今回のお題は「大震災を語る ~宮城大学の学生さんに伝え継ぐ~」。被災された皆さんそれぞれの体験を、当日参加した宮城大学の学生に語っていただきました。

グループごとに震災体験を共有



それぞれ持ち寄ったおいしいお漬物をいただきながら



30名をこえる住民の皆さんにご参加いただきました



(報告 宮城大学地域連携センター 高田)

0 0 0

ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 19:23 Comment(0) | 2011年度

2012年01月06日

登米市南方仮設住宅にて、復興てらこ屋 <其ノ弐> を開催します。

お題 大震災を語る ~宮城大学の学生さんに伝え継ぐ~

今回は、被災されたみなさんの思いを語って下さい。 (記録に残して後世に伝えます) 学生さんとふれあいながら時を過ごしませんか?

日程&会場

1月8日(日) AM10:00~12:00 登米市南方仮設住宅 第1集会所

宿題 ご自分で漬け物を漬けていらっしゃる方は お漬け物を学生さんにふるまって頂けますか? きっとびっくりされますよ!美味しくて! もちろん手ぶらでもOKですよ(^o^)

この復興てらこ屋は、大震災から私たちが学んだことを見つめ直しながら、この経験を 未来づくりへ繋いでゆくための学び舎として開校するものです。

いろいろな立場の方を講師に迎え、経験を伝え合い、交流を深め、絆という翼をそれぞれに育てながら町を再生してゆきましょう。

復興てらこ屋では、生徒もまた、講師です。

主催 宮城大学地域連携センター/ JICA東北/復興まちづくり推進協議会 共催 復興みなさん会

★参加ご希望の方は直接会場にお越しください。

お問い合わせ 宮城大学地域連携センター 022-377-8319



ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 19:20| Comment(0) | 2011年度

2011年12月13日

復興てらこ屋 其ノ壱 を開催しました。

大震災から私たちが学んだことを見つめ直しながら、この経験を未来づくりへ繋いでゆくための学び舎として「復興てらこ屋 其ノ壱」を3ヶ所で"開校"しました。(主催:宮城大学地域連携センター/JICA東北/復興まちづくり推進協議会、共催:復興みなさん会、後援:すばらしい歌津をつくる協議会)

「中越地震を乗り越えた男たちからのメッセージ」をテーマに、社団法人中越防災安全 推進機構の皆さんから中越での震災復興の経験をお話いただき、その後、会場の皆さんと 一緒に南三陸の復興について意見交換を行いました。

ご参加の皆さんからは、

- ・もとの地域ごとの集まり・話し合いの場を設けたい
- ・若い世代が集まれるきっかけを作ってほしい
- ・町の問題点を考え、チャンスに変えていきたい
- ・自分たちの町を自分たちでつくる、そのために自分たちに何ができるかと考えたい
- ・地域コミュニティの絆がないと本当の意味で再建できない
- ・参加者から復興のアイデアがたくさんでるような場・機会を作ってほしい

といった声をいただきました。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。今後も、復興てらこ屋、様々なテーマで定期的に"開校"の予定です。

報告 宮城大学地域連携センター 高田

歌津会場の様子(12月4日夜 平成の森)



南方会場の様子(12月5日午前 南方仮設住宅 第1集会所)



志津川会場の様子(12月5日午後 南三陸ホテル観洋)



ツイート 🧘 ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 19:16 Comment(0) | 2011年度

2011年11月29日

復興てらこ屋 準備中!!



復興てらこ屋 其ノ壱

お題 中越地震を乗り越えた男たちからのメッセージ 講師 (社)中越防災安全推進機構 稲垣文彦さん、石塚直樹さん

日程&会場

12月4日(日) 18:00~ 南三陸町 歌津 平成の森 和室

12月5日(月) 10:00~ 登米市南方 仮設住宅 第1集会所 12月5日(月) 14:00~

南三陸町 南三陸ホテル観洋

この復興てらこ屋は、大震災から私たちが学んだことを見つめ直しながら、この経験を 未来づくりへ繋いでゆくための学び舎として開校するものです。

いろいろな立場の方を講師に迎え、経験を伝え合い、交流を深め、絆という翼をそれぞれに育てながら町を再生してゆきましょう。

復興てらこ屋では、生徒もまた、講師です。

主催 宮城大学地域連携センター/JICA東北/復興まちづくり推進協議会

共催 復興みなさん会

後援 すばらしい歌津をつくる協議会

★参加ご希望の方は直接会場にお越しください。

お問い合わせ 宮城大学地域連携センター 022-377-8319



posted by 復興まちづくり推進員 at 19:13| Comment(0) | 2011年度

2011年11月28日

平成の森仮設住宅で炊き出しと販売会

富山市を中心に活動を続けるNGO「東北エイド」が27日(日)午前、被災者を元気づけようと、南三陸町歌津の平成の森仮設住宅で「炊き出し」や「物品販売会」を行いました。早朝6時に、物資を満載したトラックが到着。NGOのメンバーと地元ボランティアの手で次々と荷物が降ろされ、仕分けされた後、午前7時過ぎに、販売が開始されました。日用品や衣類、毛布などが50円から300円という格安で売られ、大勢の住民が先を争って買い求めていました。袋に入ったニンジンやジャガイモ、タマネギなどの野菜が無料で配布されたほか、あったかい豚汁と焼きそば、コーヒーなどが振る舞われました。

この日は、富山県高岡市の「笹川誠心会」のみなさんが、伝統の獅子舞を披露。迫力の ある演舞に会場からは惜しみない拍手が送られました。演技の終了後には、餅まきも行わ れ、来場者らは歓声をあげて餅を拾っていました。

この催しには、南三陸町の復興まちづくり支援員も、ボランティアとして協力しました。







ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 19:10 Comment(0) | 2011年度

「復興てらこ屋」と題した勉強会を計画しました

「復興てらこ屋」と題した勉強会を計画しました。主催は宮城大学とJICA東北で、南三陸町の復興まちづくり推進員が担当します。大震災から学んだことを見つめなおしながら、この経験を未来づくりへ繋いでいくための学び舎として開校します。いろんな立場の方を講師に迎え、経験を伝え合い、交流を深め、住民みんなで南三陸町の復興まちづくりについて考えよう、というものです。町内の3つの会場で開催します。

第1回目は「中越地震を乗り越えた男たちからのメッセージ」がテーマで、(社)中越 防災安全推進機構の稲垣文彦さんと石塚直樹さんをゲストにお招きし、中越の経験につい て語っていただきます。

関心のある方は、どなたでも参加いただけます。大勢の方の参加をお待ちしています。



ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 19:01| <u>Comment(0)</u> | <u>2011年度</u>

2011年11月27日

加美町の住民が南三陸町を訪問し、交流を深めました

加美町の住民が26日(土)午前、南三陸町を訪問して、仮設住宅に暮らす人々と交流を深めました。訪れたのは加美町中新田交流センターの鈴木啓悦さんと一般町民の6人。最初に訪れた戸倉波伝谷地区の仮設住宅では、被災者で、宮城大学の復興まちづくり推進員を務めている後藤一磨さん夫妻の出迎えを受け、津波の被害の様子などの説明を受けました。 次いで、歌津の平成の森に移動し、203世帯639人が暮らす町内最大の仮設住宅を視察しました。その後、歌津地区に住む復興まちづくり推進員の案内で、馬場・中山地区の被災地を訪問。11月6日にNHKスペシャルで全国放送されたドキュメンタリー番組で有名になった、地区民が力を合わせて切り拓いた「未来道」などを見て回りました。中山漁港では、ワカメの養殖作業に取り組む漁師の様子を見学したほか、テレビですっかり

お馴染になった「倉さん」こと阿部倉善さんとも面会。浜の番屋に招き入れられて、漁業の再生に取り組む漁民の現状などについて詳しくお話を聞かせてもらいました。



posted by 復興まちづくり推進員 at 18:58| Comment(0) | 2011年度

2011年11月23日

「復興まちづくり協議会」設立準備会の立ち上げ決まる

歌津平成の森「研修室」で11月19日夜、「防災集団移転促進事業」と「復興まちづくり協議会」についての説明会が行われました。歌津伊里前地区の伊里前会と伊里前契約会が主催したもので、行政区の班長や一般町民などおよそ40人が出席しました。説明会には町から震災復興推進課の及川課長らが出席。高台移転のしくみや実施要件、事業のメリット・デメリットについて説明しました。次いで、「復興まちづくり協議会」について解説。「復興の主役は町民一人ひとりである」とし、「協議会は住民同士が協力して、自主的な復興まちづくりを進めていくための組織である」と話しました。さらに、「協議会は地区を代表する組織で、住民はもちろん、町内会・自治会、商店会のような地区のつながりの組織等のさまざまな団体・組織の参加も考えられる」と説明。「参加している全メンバーで、合意できるように議論をつくすことが重要である」と強調しました。

説明会終了後、出席した地区民の懇談会が行われ、できるだけ早く復興まちづくり協議会を設立することで意見が一致。伊里前行政区の区長と伊里前契約会の会長らが中心となって、協議会設立のための準備会を立ち上げることがきまりました。



posted by 復興まちづくり推進員 at 18:57| Comment(0) | 2011年度

2011年11月20日

「すばらしい歌津をつくる協議会」11月定例会開催

11月17日夜、歌津平成の森「アリーナ」を会場に、「すばらしい歌津をつくる協議会」(小野寺寛会長)の11月定例会が開催され、地区の行政区長・仮設住宅の自治会長・契約会長のほか、9つのボランティア団体の代表などおよそ40人が出席しました。支援物資の配布状況や奈良県十津川村への義援金募金が80万円を超えたことなどが報告されたほか、各ボランティア団体がこれまでの活動状況や今後の支援計画について報告しました。

協議事項では、12月初旬に「復興のまちづくり考える ふれあいバスツアー」を実施することが決定したほか、「集団移転事業」についての情報交換も行われました。

また、宮城大学看護学部の佐々木久美子教授が「地域の絆を生かした町づくり —住み慣れた地域で安心して暮らすために—」をテーマに、地域の中での支え合いの歴史を振り返り、現代バージョンに合わせた支え合いの仕組みづくりについての提案を行いました。この定例会には、南三陸町の復興まちづくり推進員2人もオブザーバーとして出席。12

月に予定されている、中越防災安全推進機構のメンバーを招いての勉強会への参加を呼び かけました。



ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 19:43| Comment(0) | 2011年度

2011年11月15日

新潟山古志地区民が馬場中山を訪問

新潟県長岡市の山古志地区住民が10月31日(月)、南三陸町歌津の馬場中山地区を訪問。仮設住宅に暮らす住民らと交流会を開きました。訪れたのは、長岡社会福祉協議会山古志地区会長の若槻敬さん、農家レストラン「山古志ごっつぉ多菜田」代表の五十嵐なつ子さんなど7人。馬場中山生活センターを会場に開催された昼食会に出席し、和やかに交流のひと時を過ごしました。交流会には、10月23日から3日間の日程で「中越大震災」の復興事例や地域復興支援員の活動事例を視察研修した、南三陸町の復興まちづくり推進員2人も参加し、意見交換を行いました。



posted by 復興まちづくり推進員 at 19:41 Comment(0) | 2011年度

2011年11月10日

歌中祭で「宮城大学による歌津復興案」展示

歌津中学校の文化祭「歌中祭」が、10月30日(日)同校体育館で開催され、父兄など大勢の来場者で賑わいました。

会場では、「宮城大学による歌津復興案」も展示され、家族連れなどが次々に訪れ、真 剣に見入っていました。



2011年11月01日

南三陸 推進員ミーティングを開催しました。

11月1日10時~12時半、南三陸町内にて、推進員のミーティングを行いました。当日は、マスコミの取材も入りました。



ツイート ブックマーク

posted by 復興まちづくり推進員 at 19:33| <u>Comment(0)</u> | <u>2011年度</u>

